

## 野口五郎岳 裏銀座（フチ）縦走

目的：トレーニング ソロの経験を積む

2012年8月3日(金)～8月5日(日)

メンバー：福嶋

---

3日の04:00に浜松を車を出発、飯田山本を経由し七倉山荘に09:15着、駐車場は95%埋まっていた。身支度を整え09:40山行開始、多くの登山者は七倉山荘からタクシーを使って高瀬ダムの提端まで行くようだがトレーニングと節約を兼ねて歩くことにした、天候は快晴。

高瀬ダムからは通常とは逆周りに湯俣温泉に向かう、これは出発時刻との兼ね合いで決めた。湯俣温泉には13:30に到着、ここまでは林道と登山道と言っても平坦で散歩感覚であった。今回の山行ではテン場は此処と烏帽子小屋にしかなく、此処にテントを張る計画にした。

時間があつたので噴湯丘を見学することにした、湯俣温泉（晴嵐荘）から歩いて15分程の所ではあるが教えてもらわなければ地図のみでは辿り着くのは難しそう。テレビなどでも紹介されているので見覚えはあつたが河原にもっこりと大きなプディングのような物体があり頂上部からお湯が流れていた。周囲には他にも数個の噴湯丘が見られた。河原の湯だまりは沸騰しているような所もあり迂闊には湯かげんを確かめるとは出来ない。

4日は山小屋のアドバイスもあって05:00にはテン場を出発、朝の涼しい内に来るだけルートを経ようという計画、久しぶりの歯応えのある山行だからかやたらと喉が渇く、晴嵐荘では湧き水が飲み放題であったので500mLのペットボトルを満杯にしたが2Lのアクエリアスが半分残っていたのでこちらには湧き水を補給せずにいた。

本日は湯俣温泉－湯俣岳－南真砂岳－真砂岳－野口五郎岳－三ツ岳－烏帽子小屋という10時間のルートで水は野口五郎小屋でしか補給できない。途中の竹村新道はガレているという情報で計画どおりの行動が取れるか心配であった。喉の渇きはこの頃になっても収まらずどんどん消費し次の小屋まで持たないのではないかという心配が強くなった。南真砂岳や真砂岳はルートから少しずれた所にあるのだが体力と水不足から頂上は踏まずにパス。

野口五郎岳は今回の目的地でもあるのできっちり訪問し13:44、野口五郎小屋に向かう。ここで待望の水を補給するのだが、此処は天水しかなく晴天続きで一人500mLまでという制限がかかっていた、それでも700mL位は入れてくれたようだ。時間の余裕が無いいため休憩もそこに烏帽子小屋に向かう。烏帽子小屋まではほとんどが下りのため2:30で到着すると聞いてホッと一安心。この気の緩みがいけなかったのか途中でルートを外してしまい30分位ロスをして正規のルートに戻る直前に自然パトロールの女性隊員2名に遭遇しルート以外のところを歩いているところを目撃され、正規の登山道に修正していただいた。その後は大きなミスも無く烏帽子小屋テントサイトに到着し17:45設営完了。

5日は05:13にテントサイトを出発し一路下山、途中で昔購入した安物の電波時計がリセットされ正しい時刻を表示しなくなるというアクシデントがあつたがデジカメの時計機能でしのぐ。また登山道を出てから濁沢の河原を歩いているときにもルートを失い20分程度のロス、この時は日差しがきつく河原のため歩きにくく恨めしかった。高瀬ダムには08:24着、七倉山荘には09:30着。七倉山荘で待望の風呂に入る、リニューアルしたばかりとのことで大変きれい、カランは4つで露天風呂つき。今年初物のよく冷えたスイカも食べ計画通り無事下山できた喜びと達成感が感じられた。



湯俣の噴湯丘



竹村新道手前から見た槍ヶ岳



野口五郎岳の山頂

以上